

公益社団法人京都染織文化協会

令和6年度 事業報告

1. 会員の加入及び退会

	期 首	加 入	退 会	期 末
会員数	37	0	1	36

加入商社：なし

退会商社：光洋商事(株)

2. 会務

■第76期通常総会

令和6年 5月21日	からすま京都 ホテル	1. 令和5年度事業報告承認の件 2. 令和5年度決算報告承認の件 3. 令和6年度事業計画(案)承認の件 4. 令和6年度収支予算(案)承認の件
---------------	---------------	--

■理事会

令和6年 4月25日	京都経済センター	1. 令和5年度事業報告の件 2. 令和5年度収支決算報告の件
---------------	----------	------------------------------------

9月18日	書 面 決 議	1. KPA 京都プリント振興協会主催『メイキング・ワークショップ 2025』 に対し当協会の共催名義使用許可並びに助成金申請(50万円)の交付 承認について 2. 会員のための助成事業再開に伴う「助成規程」の改正承認について
-------	---------	--

令和7年 3月18日	からすま京都 ホテル	1. 令和7年度事業計画(案)の件 2. 令和7年度収支予算(案)の件 3. 代表・業務執行理事の職務執行報告の件 4. 役員改選の件 5. 第77期通常総会日程の件(5月21日(水)於：からすま京都ホテル 2F 桃李) 6. 定款別表変更(案)の件 7. 令和7年度会員のための助成事業交付決定の件 8. 重要な財産の譲り受けの件 9. 資産運用規程改正(案)の件
---------------	---------------	---

3. 実施事業

■公益事業

(1) 染織文化資源の保全と啓発事業

当協会が基本財産に位置付ける「染織祭衣装」と「全国染織産地合同制作布地」を保全するとともに、これら所蔵資料にみる染織技術の公開や資料そのものの一般公開により一般社会に伝える知識普及・啓発を目的とし、下記事業に取り組んだ。

*「染織祭」の詳細調査並びに公開

当事業は、昭和6年～26年に挙行された染織祭について北野裕子氏(龍谷大学 非常勤講師)に調査を依頼し、現存する史料や文献、ヒアリングなどから当時の社会・経済背景、染織祭挙行の経緯、衣装制作の詳細を明らかにすることで、いまだ認知の薄い染織祭と復元女性時代衣装の存在を一般の方々に広く知ってもらい、染織文化・染織技術を継承する目的で取り組んでおり、今年度は次の通り調査を行った。

<今年度調査先>

- ・文献調査—国立国会図書館・関西館、国立国会図書館デジタルコレクション、京都市会図書館・情報室、京都府立京都学・歴彩館、市政専門図書館

<調査成果>

- ・5/23、5/24 京都市会図書館・情報室に於いて、当協会所蔵資料の裏付けとなる資料を確認、収集した。
- ・8/5 京都府立京都学・歴彩館に於いて、昭和25年10月～11月に発行された京都新聞記事より、戦後の染織祭の動きを調査した。
- ・8/22 国立国会図書館・関西館に於いて、染織祭を取り上げた雑誌をはじめとした調査の足掛かりとなる新たな資料を確認、収集した。
- ・12/12 市政専門図書館((公財)後藤・安田記念東京都市研究所)内に於いて、当時の京都市観光課による染織祭開催時の宣伝頒布物についての新たな資料を収集した。
- ・国立国会図書館デジタルコレクションを利用して染織祭の記録検索を年間通して行った。

<調査公開>

- ・「染織祭調査ブログ」にて、一般に広く情報提供を呼び掛けるとともに、調査内容の公開を行い、協会活動の啓発を行った。
- ・北野裕子著『<染織の都>京都の挑戦—革新と伝統—』(2025年 吉川弘文館)において染織祭について紹介した。
- ・調査により明らかになった内容は、ウェブサイト並びにインターネット上で展開するフリー百科事典『Wikipedia』に追加掲載して一般社会に啓発した。

＜入手資料＞

染織祭・染織祭衣装調査のために下記資料を購入した。

- ・リーフレット「染織祭案内」(昭和 11 年 京都市観光課)／Yahoo オークション

* 染織祭衣装台帳のデータベース化

令和 5 年度よりデジタル台帳並びに検索フォームの運用を開始し、143 領分の衣装情報を管理しているが、今年度は下記の通り取り組んだ。

＜今年度の取り組み＞

- ・装飾品・道具類のデータベース作成 471 件

* 染織祭関係史料の公開

当協会が保管する染織祭関係史料データをウェブサイト上で公開した。

＜今年度公開史料＞

- ・庶務 1 件（昭和 15 年 染織講社） 139 ページ
- ・庶務 1 件（昭和 16 年 染織講社） 111 ページ

* 染織技術アーカイブの作成に伴う資料調査と公開

当事業は所蔵資料に使われた染織技術の記録と解説を行い、その内容をウェブサイト上で染織技術アーカイブとして纏めて公開する目的で行っており、今年度は次の通り公開した。

（新規公開内容）

「全国染織産地合同制作布地」

1998／1999 年秋・冬物向婦人用布地 26 点

公開技術「織る」……ボイル織、ラッセル織、網目織、緋

「染める」……トップ染め

「特殊技術」……異形断面糸

※染織祭衣装に関わるアーカイブは平成 29 年度をもってすべて公開済。

* 染織祭衣装の補修・修繕並びにレプリカ制作

◎補修・修繕

「衣装の傷み 5 段階評価」に基づき、評価 2～3 の衣装を対象に当協会職員によって下記の通り補修・修繕を行った。

上古時代 衣 ……1、2、4、10、11、12、15、16 号

表裳 ……3、8、9、10 号

合計 12 点

◎レプリカ制作

衣装の劣化に伴う将来の備えとして、また職人による技術復興・継承の機会としてレプリカの制作を行った。

<対象衣装>

- ① 江戸時代初期 6 号「淡浅葱縮緬地柳桜草紙短冊文様振袖」(R6(独)日本芸術文化振興基金助成金対象事業)
- ② 鎌倉時代 1 号「紅地襷海松文様小袖」(R6(一財)京都染織会館助成金対象事業)

※当初計画していた鎌倉 7 号は諸般の事情により制作を断念した。

<協力先>

京鹿の子絞振興協同組合／京都刺繍協同組合／京都府織物・機械金属振興センター

<今年度の取り組み>

- ・①は撚糸、整経、製織、友禅下絵、糊置き、手描友禅、地染め、刺繍の工程を経て、令和 7 年 2 月 20 日に完成した。
- ・②は、緯糸加工、整経・製織、下絵の工程を終了し令和 7 年 5 月完成予定。
- ・「第 75 回丹後織物求評会」(10/16-19 於：丹後織物工業組合)にて①の新旧衣装の展示並びに制作工程ビデオの公開を行った。
- ・「京鹿の子絞工芸展・京繡作品展」(12/6-8 於：京都市京セラ美術館)にて過去制作した桃山時代 4・6 号の新旧衣装の展示並びに制作工程ビデオの公開を行った。

* 所蔵資料・衣装貸付協力

■染織祭衣装

◎京都市考古資料館「ファッションの考古学」展への衣装貸付協力

会 期 7 月 13 日(土)～11 月 24 日(日)

会 場 京都市考古資料館(京都市上京区)

貸付衣装 4 点(奈良時代 19 号、平安時代 15 号、室町時代 3 号、江戸時代末期 11 号)

入 場 者 ※自由観覧

◎奈良県立美術館「日本の伝統文化を知る 江戸時代のきもの」展への衣装貸付協力

会 期 7 月 13 日(土)～8 月 25 日(日)

依 頼 先 奈良県立美術館(奈良市登大路町)

貸付衣装 2 点(室町時代 5 号・7 号)

入 場 者 4,653 名

■所蔵資料

◎「2024 年版 きもの文化検定問題集」への画像提供協力

依 頼 先 ハースト婦人画報社

発行/制作 全日本きもの振興会／ハースト婦人画報社

目 的 コラム「女性の服装の変遷」において紹介

発 売 日 7 月 28 日

提供画像 図録「女性の服装 1500 年」より着装画像 11 点（上古～江戸時代末期）

◎「＜染織の都＞京都の挑戦―革新と伝統―」への画像提供協力

依 頼 先 吉川弘文館

目 的 表紙カバーならびに本文図版として掲載

発 売 日 令和 7 年 1 月 27 日

提供画像 染織祭絵葉書のうち、2 点（奈良時代・室町時代）

◎「新世」への画像提供協力

依 頼 先 （一社）倫理研究所

目 的 家庭向け総合月刊誌「新世」2025 年 3 月号に本文図版として掲載

発 売 日 令和 7 年 2 月 1 日

提供画像 1 点（江戸時代末期 8 号）

*** 染織技術に向けての復興の取り組み**

全国には継承が途絶えた染織技術が数多くあり、近年その技術を復興させようという動きが各地で起こりつつある。それを踏まえ当協会においては染織技術の継承と豊かな染織文化の提案を目的に、技術面や啓発面などから復興支援に取り組むため、今年度は下記の通り行った。

＜今年度の取り組み＞

（一社）日本サステイナブルシルク協会の要請を受けて、「蚕糸の日 2025」の取り組みについて会員並びに一般に周知をはかった。

*** その他**

◎染織資料関連書物の寄贈受け入れ

龍谷大学京都産業人倶楽部が資料の整理を行うにあたり、下記の通り寄贈を受けた。
今後当協会において染織資料の参考文献として活用していく。

＜受け入れ書物＞

- ・「草木染の事典」／東京堂出版
- ・「帯」／主婦と生活社
- ・「日本の美術No.7 染」／至文堂

◎Instagramの開設と発信

Instagramを開設し、衣装等画像を中心とした発信により、視覚面からの国内外への啓発を行った。

(2) 染織技術等継承事業

日本の染織技術を次代に継承していくために、染織に馴染みの薄い人たちにあらゆる方

法でもって伝えることで認知と理解を深め、将来携わる人々を増やす目的で次の事業に取り組んだ。

* 子ども向け染織技術啓発冊子の配布

きものをより身近な衣服として受け止めてもらおうと共に、きものには様々な技術が使われていることをわかりやすく伝え、染織技術の一端を知ってもらうことを目的に小冊子を配布しているが、今年度は冊子をリニューアルして 1,000 部制作し、七五三詣りのシーズンに次の通り配布した。

<配布先>

- ・高島屋 6 店舗(日本橋・新宿・横浜・名古屋・大阪・京都)呉服売り場 合計 300 冊
- ・京都織物卸商業組合主催「七五三詣り」(11/16 於：平安神宮) 合計 70 冊

* 染織文化セミナーの開催

◎「繊維の未来を考える ～持続可能なファッションとこれからの衣服文化～」

日 時 11 月 14 日(木) 14:00～16:00
会 場 からすま京都ホテル 2 階 双舞の間
講 師 安江 滋 氏(ザ・ウールマーク・カンパニービジネスデベロップメントマネージャー)
内 容 サステナブルファッションと今後の衣服文化について考える
受 講 料 無 料
広 報 (会員・関係団体・美術館等)当協会より案内送付。

(一般)10/24 京都新聞夕刊に広告掲載。ウェブサイト、SNS で告知。

受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 41 名

◎「色から読み解く日本の文化 ―深層心理から文化を探る―」

日 時 令和 7 年 3 月 18 日(火)14:00～16:00
会 場 からすま京都ホテル 2 階 双舞の間
講 師 齋藤 美穂 氏(早稲田大学副総長 名誉教授)
内 容 文化に根付いた色の好みや印象を知り、日本の染織文化を再発見する
受 講 料 無 料
広 報 (会員・関係団体・美術館等)当協会より案内送付。

(一般)2/25 京都新聞夕刊に広告掲載。ウェブサイト、SNS で告知。

受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 56 名

* インターネットミニ染織講座の開催

不特定多数の人々に知識を広めていくため、ウェブサイト上でミニ講座を開設し、解説及びオンライン動画共有サービス『YouTube』を経由して動画配信を行い、閲覧を促した。

◎衣装レプリカ制作プロジェクトシリーズ

・江戸時代初期 2 号

①「完成」(更新日：4 月 1 日)

・江戸時代初期 6 号

①「撚糸工程」(更新日：4 月 15 日)②「整経工程」(更新日：4 月 26 日)

③「製織工程」(更新日：7 月 8 日)④「友禅下絵工程」(更新日：7 月 8 日)

⑤「糊置工程」(更新日：7 月 19 日)⑥「手描友禅工程」(更新日：9 月 25 日)

⑦「地染め工程」(更新日：10 月 3 日)⑧「刺繍工程」(更新日：12 月 4 日)

⑨「完成」(更新日：令和 7 年 3 月 3 日)

・鎌倉時代 1 号

①「緯糸加工工程」(更新日：令和 7 年 2 月 18 日)

②「整経・製織工程」(更新日：令和 7 年 2 月 18 日)

③「下絵工程」(更新日：令和 7 年 3 月 27 日)

④「糸入れ工程」(更新日：令和 7 年 3 月 27 日)

・(海外向け)きもの制作工程紹介(英訳リール動画)

① 江戸時代初期 2 号制作工程(更新日：11 月 5 日)

(3) 染織技術等継承に関わる助成事業

染織技術を継承し一般社会に啓発していくことを目的とし、当協会助成規程に基づき次の事業への助成を行った。

◎KPA 京都プリント振興協会「メイキング・ワークショップ 2025」への共催

会 期 11 月 8 日(金)～10 日(日)10:00～17:00

会 場 京都府京都文化博物館別館(中京区三条高倉)

出 展 者 12 社 22 組

内 容 染色業に携わる職人の創造力、技術力の向上を図るため、制作の機会、発表の場を提供した。今回は「楽しくなければプリントじゃない!」をテーマにピンワークで展示、着ることを重視した生地制作を前提とし、ものづくりに取り組んだ。当協会からは共催名義使用許可、助成金 50 万円の交付、京都染織文化協会理事長賞の下付を行った。

入場者数 1,016 名

◎映画「お蚕さま セヴェンヌ」製作への助成

公 開 日 令和 7 年 1 月頃予定 ※申請時

製 作 「お蚕さま セヴェンヌ」製作委員会

内 容 ロココ時代の伝説の絹「セヴェンヌ」の復興を通じて、職人たちの手仕事を繋ぎ、若い人たちが未来に向かって新たな展開と発展を実現していく為に挑戦する姿を伝えるドキュメンタリー映画を製作。当協会では2年間の助成の2年目として令和6年度分助成金50万円を交付した。

* 選考委員の増員

当協会の助成が妥当か否かを公益性の観点から検討する「第一段階審査(選考委員によるヒアリング)」において、今年度より下記の通り選考委員を増員して円滑な審査環境を整備した。

＜選考委員 5名＞

※敬称略／五十音順

池上 庸之介	(一財)京都染織会館 専務理事	新任
北川 満哉	学芸員	
北野 裕子	龍谷大学 非常勤講師	
奈良平 宣子	テキスタイルデザイナー	新任
森田 純一郎	俳人／(公社)俳人協会 理事 関西支部長	新任

■ 会員事業

* 会員のための啓発事業

◎セミナー情報の発信

- ・「蚕糸の日 2025」説明会 (8/6 (一社)サステイナブルシルク協会)

◎展覧会招待

＜招待展覧会＞

- ・「LOVE ファッションー私を着がえるとき」(9/13-11/24 京都国立近代美術館)
- ・「草間彌生 版画の世界ー反復と増殖ー」(2025. 4/25-9/7 京都市京セラ美術館)

* 京都プレス事業

当事業は染織品の発展と更なる需要を促すために、伝統的な染織技術と先端技術を融合させた新しい素材の開発と加工に取り組み、市場での反応を調査した後、その技術と情報を会員商社にフィードバックする目的で行っている。今年度も和装素材の新しい提案としてシルクオパール糸の開発並びに織物の制作を京都市産業技術研究所、京都府織物・機械金属振興センターの協力により、引き続き取り組んだ。

* 会員助成事業

令和7年度より事業を再開するにあたり、規程の改正等の助成環境の整備並びに令和7年度向け事業の助成申請募集を行った。

令和 6 年度 染織祭衣装レプリカ制作衣装

江戸初期 6 号「淡浅葱縮緬地柳桜草紙短冊文様振袖」(生地:一越縮緬 技術:手描友禅、刺繍)



鎌倉時代 1 号「紅地襷海松文様小袖」(生地:湿緯(羽二重) 技術:縫締絞り、折り縫締)

